

図書館カレンダー

■は休館日です。

○数字は短縮(全館 平日…9:00~17:00 土曜日…9:00~12:30)

2月							3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2						①	②		①	2	③	④	⑤	⑥
3	4	⑤	⑥	7	⑧	⑨	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
24	25	26	27	28			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				
							31													

2月1日(金)~4日(月)、7日(木)、27日(水) : 入学試験

3月4日(月)~9日(土) : 蔵書点検

3月19日(火) : 卒業式

4月2日(火) : 入学式

開架図書の貸出期間はすべて14日以内に

~学外利用者への貸出期間を延長~

従来、学外の利用者への図書資料の貸出期間は7日以内でしたが、来年度より貸出期間が14日以内に延長されることになりました。これは開架図書も閉架図書も同じ扱いです。なお、貸出冊数は従来通りで3冊以内です。この結果、開架図書の貸出期間は、すべての利用者について14日以内になります。

(開架図書)

名古屋学舎のライブラリーサービスセンター、法学文献センター、豊田学舎の豊田図書館の開架書庫に所蔵されている図書。

(閉架図書)

名古屋学舎の名古屋図書館(1号館)及び豊田学舎の豊田図書館の閉架書庫に所蔵されている図書。

卒業生の利用証の有効期間4年に

卒業生の利用証の有効期間は従来1年間でしたが、来年度より4年間に延長されることになりました。実施は4月1日から。

新着図書セレクト

007.3/St 7	『コンピュータが子供たちをダメにする』(クリフォード・ストール著 草思社) コンピュータ文化はさまざまな面で子供たちを、そして私たち自身をも蝕みつつあるとして警鐘を鳴らす。	LSC
007.58/O 26	『文科系学生のインターネット検索術』(大串夏身著 青弓社)	LSC
016.233/C 89	『新しい図書館』(英国図書館情報委員会 日本図書館協会)	T L
019.9/Ko 18	『寝ても覚めても本の虫』(児玉 清【著】新潮社) 児玉清が綴る、読む喜びがほとばしる読書エッセイ。	LSC
021.2/Ta 82	『著作権法概説第2版』(田村 善之【著】有斐閣) インターネットを通じた著作物の流通・デジタル複製技術の普及などが新たな問題を次々と生み出しているなかで、最新の内容を盛り込む。	LSC
141.5/N 76	『認知科学の新展開』(乾 敏郎・安西 祐一郎【著】岩波書店) 第1巻 認知発達と進化 第2巻 コミュニケーションと思考 第3巻 運動と言語 第4巻 イメージと認知	T L
210.75/B 98	『敵国日本』(ヒュー・バイアス【著】刀水書房) パールハーバーからたったの70日で執筆・出版され、大ベストセラーとなったニューヨークタイムズ記者の日本論。	LSC
239.2/B 61	『ビンラディン』(ヨセフ・ボダンスキー【著】毎日新聞社) 著者はイスラム過激派を専門に研究している世界的に知られたアナリスト。ビンラディンと国際テロリストの組織の全貌を明らかにする。	LSC
268. 04/St 6	『黄金の国の光と陰』(M・ステイングル【著】アリアドネ企画) インカ帝国興亡の謎を描く。	LSC T L
281.03/N 71	『日本人物情報大系(61~90巻)』(皓星社) 61~70巻 書画編 71~80編 朝鮮編 81~90巻 諸芸・諸職編	N L
283.04/Sh 12	『世界を動かしたユダヤ人100人』(マイケル・シャピロ著 講談社) 第1章 常識をくつがえしたユダヤ人、第2章 歴史をゆるがしたユダヤ人、第3章 経済・ビジネスを制覇したユダヤ人等、9章にわたる。アインシュタイン、ロスチャイルド等、後世に大きな影響をあたえたユダヤ人100人。	LSC
302.271/Sa 85	『アフガニスタンの悲劇』(佐藤和孝著 角川書店) 現地に潜入した日本人ジャーナリストが最前線での取材を通して訴える。	LSC
304/F 39	『次の10年に何が起こるか』(Foresight編集部【編】新潮社) 夢の実現か、悪夢の到来か。次の10年を読み解く80の質問、次の10年を動かす注目の80人、各界へのインタビュー等を掲載。	LSC
304/G 42	『暴走する世界』(アンソニー・ギデンズ【著】ダイヤモンド社) グローバル化する世界はどこへ行くのか。	LSC T L
316.4/C 53	『9. 11』(ノーム・チョムスキー著 文藝春秋社) 今回のテロは「文明の衝突」などではない。 第1章 真珠湾と対比するのは誤り 第2章 なぜ世界貿易センターか 第3章 アメリカは「テロ国家の親玉」他(全7章)	LSC
361.42/I 91	『日本人のころ』(五木 寛之【著】講談社) 全三巻。「日本人のころ」を探しての思想ならぬ「史想」の旅。	T L

368.6/Mi 88	『テロリズムと世界宗教戦争』(宮崎 正弘【著】徳間書店) 「聖戦」と「報復」が世界秩序をどう変えるか。	T L
319.27/Sh 19	『「テロリスト」がアメリカを憎む理由』(芝生 瑞和【著】毎日新聞社)	LSC
319.8/Sa 32	『非戦』(坂本 龍一【監修】幻冬舎) アメリカの「同時多発テロ」と「報復戦争」に対する50氏の非戦論。	LSC
332.107/U 14	『これで納得！日本経済のしくみ』(内田 茂男【著】日本経済新聞社) バブルがなぜ発生したのか、なぜ不況がこんなに長く続いたのか等、日本経済のしくみをわかりやすく解説。	LSC
319.3/Mi 75	『ヨーロッパ統合のゆくえ』(宮島 喬 羽場 久ミ子【編著】人文書院) その深化と拡大において問われているものに迫る。	T L
336.42/C 16	『雇用の未来』(ピーター・キャペリ【著】日本経済新聞社)	LSC
329.21/Ta 28	『外国人と社会保障法』(高藤 昭【著】明石書店) 第1部 国際的人権保障規範進展の状況 第2部 日本における外国人に対する社会保障法の適用状況 第3部 外国人の生存権、社会保障権に関するわが国の判例 他	L L
375.32/W 37	『歴史教科書とアジア』(和仁 廉夫【著】社会評論社)	LSC
420 /A 12	『物理を楽しもう』(阿部 龍蔵【著】岩波書店)	T L
442.3/P 21	『望遠鏡が宇宙を変えた』(リチャード・パネク【著】東京書籍)	LSC
519/I 75	『環境ホルモンなんて怖くない』(石井 佐知子【著】かもがわ出版) 快適に暮らすための安全マニュアル。	T L
498/Y 58	『健康のための97のミニ知識』(室久 敏三郎【監修】矢野 邦夫【編】静岡新聞社)	T L
498.6/O 52	『ハンセン病』(沖浦 和光,徳永 進【編】岩波書店) 排除・隔離・差別の歴史を綴る。	LSC
501.6/Ka 98	『エネルギーの百科事典』(茅 陽一【編】丸善)	N L
519/N 88	『環境と化学』(新田 昌弘【著】大学教育出版) 環境問題を化学の立場から理解し、解決の道を探る入門書。	T L
520/Ka 19	『シェルター』(ロイド・カーン【著】グリーンアロー出版社) 1000点の写真と250点のイラストで構成された人間の住生活に着眼したユニークな書と言えようか。アメリカで26万の販売部数を記録。	LSC
693/I 74	『郵政民営化の虚構』(石原 洸一郎【著】リヨン社) 郵政三事業の民営化で日本の混乱はさらに深まると主張。	LSC
767.8/H 89	『昭和歌謡大全集』(堀野 真一【編】成美堂出版)	LSC
780.19/Kr 3	『スポーツのオーバートレーニング』(リチャード・B. クレイダー【他】【著】大修館書店) あらゆるスポーツにおけるオーバートレーニング症候群の研究。	N L LSC T L
812/Y 86	『語源辞典(動物編、形容詞編)』(吉田 金彦【編】東京堂出版)	LSC
837.8/W 46	『通じる英語通じない英語』(渡辺 幸一【著】飛鳥新社)	LSC
913.6/D 85	『前田利家』(童門冬二【著】小学館)	LSC
913.6/Y 86	『沈黙のアスリート』(吉田 直樹【著】日本放送出版協会)	T L
913.6/Mu 43	『最後の家族』(村上 龍【著】幻冬舎)	LSC
913.6/A 81	『王妃の館;上・下』(浅田 次郎【著】集英社)	LSC T L

表中の右肩の記号は所蔵館を表示します。NLは名古屋図書館(本館)、LSCはライブラリーサービスセンター(センタービル図書館)、TLは豊田図書館、LLは法学文献センターの略称です。

学生希望図書制度の活用を

～同時多発テロ事件に関連して～

アメリカで起こった同時多発テロ事件は世界を震撼させ、その後も世界の経済と社会に多大な影響を与え続けています。21世紀は衝撃的な事件によって幕を開け、人々は戦争の拡大の危険を感じながら事態の推移を注視しています。タリバンとは何か、イスラム原理主義とは何か、ビンラディンとはいかなる人物か、「テロリスト」はなぜアメリカを標的にするのか、戦争がもっと拡大するのではないか、等、この事件に対する関心は非常に高いものがあります。グローバル化が加速する現在、一国、一地方で起こった事件も私たちの生活に様々な形で影響を及ぼします。今回の事件は私たちに避けて通れない様々な課題を提供していると思います。

下記は今回の事件に関連して最近出版され、本学図書館に所蔵されている資料の一部です。本学図書館は世界と日本における様々な事象に関する資料をより多面的に収集し、利用者の要求に応えられるよう努めています。学部学生の皆さんには必要とする資料をリクエストする制度があります。各図書館のカウンターで申請することができます。この制度を積極的に活用して、図書館資料の更なる充実に寄与して欲しいと思います。

〔関連資料〕

『イスラム世界と欧米の衝突』 宮田律【著】日本放送出版協会, 1998. 4(NHKブックス)出版

名古屋・LSC 豊田・開架室 319.27/Mi 84

『文明の衝突』 サミュエル・ハンチントン【著】集英社 1998. 6 出版

名古屋・LSC 319/H 98

『タリバン』 アハメド・ラシッド【著】講談社 2000.10 出版

名古屋・LSC 227.1/R 17

『医者井戸を掘る』 中村哲【著】石風社 2001.10 出版

名古屋・LSC 369.9/N 37

『イスラムのテロリスト』 黒井文太郎【著】講談社 2001.10(講談社+α新書)出版

名古屋・LSC 4F 新書コーナー 316.4/Ku 73

『イスラム原理主義』 岡倉徹志【著】明石書店 2001. 11 出版

名古屋・LSC 312.27/O 41

『世界テロ事典』 浦野起央【編著】三和書籍 2001.11 出版

名古屋・LSC 名古屋LL 開架室 316.4/U 84

(新着図書セレクトで掲載した資料)

『アフガニスタンの悲劇』 2001. 11 出版 名古屋・LSC 302.271/Sa 85

『ビンラディン』 2001.11 出版 名古屋・LSC 239.2/B 61

『9.11』 2001.11 出版 名古屋・LSC 316.4/C 53

『「テロリスト」がアメリカを憎む理由』 2001. 11 出版 名古屋・LSC 319.27/Sh 19

『非戦』 2002.1 出版 名古屋・LSC 319.8/Sa 32

～編集部より～

Culib News(クリブニュース)への投稿を歓迎いたします。図書館への要望やご意見、書評や読書感想、エッセイなど、どしどしお寄せ下さい。

〒466-8666

名古屋市昭和区八事本町101-2 中京大学図書館クリブニュース編集部